

事後評価シート

【評価年月】 平成15年4月
 【主管課・室】 大気環境課大気生活環境室
 自動車環境対策課
 【評価責任者】 大気生活環境室長 上河原献二
 自動車環境対策課長 堅尾和夫

施策名、施策の概要及び予算額

施策名	- 2 - (2) 大気生活環境対策
施策の概要	騒音・振動・悪臭に係る規制その他の対策を講じ、またヒートアイランド現象や光害の対策を行うことにより、環境基準の達成・確保等を図り、生活環境を保全する。
予算額	217,544千円(14年度予算)

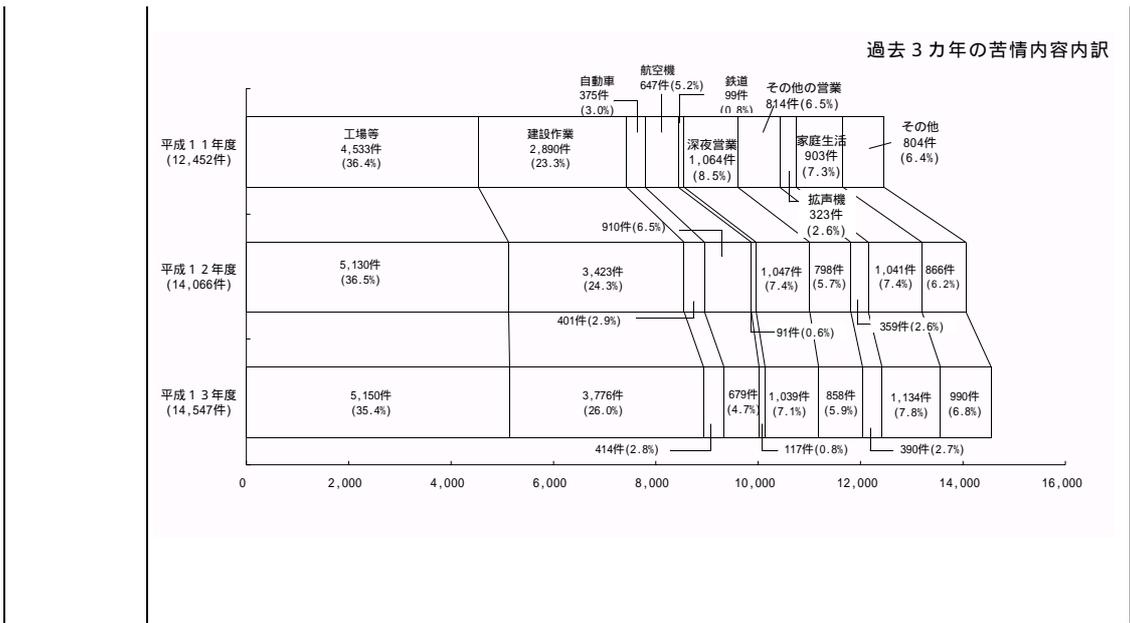
目標・指標、及び目標の達成状況

目標	環境基準の達成・確保等により、大気環境に関し生活環境を保全する。
達成状況	騒音・振動については、長期的には苦情件数が減少している。一方、悪臭については、苦情件数の増加が見られる。

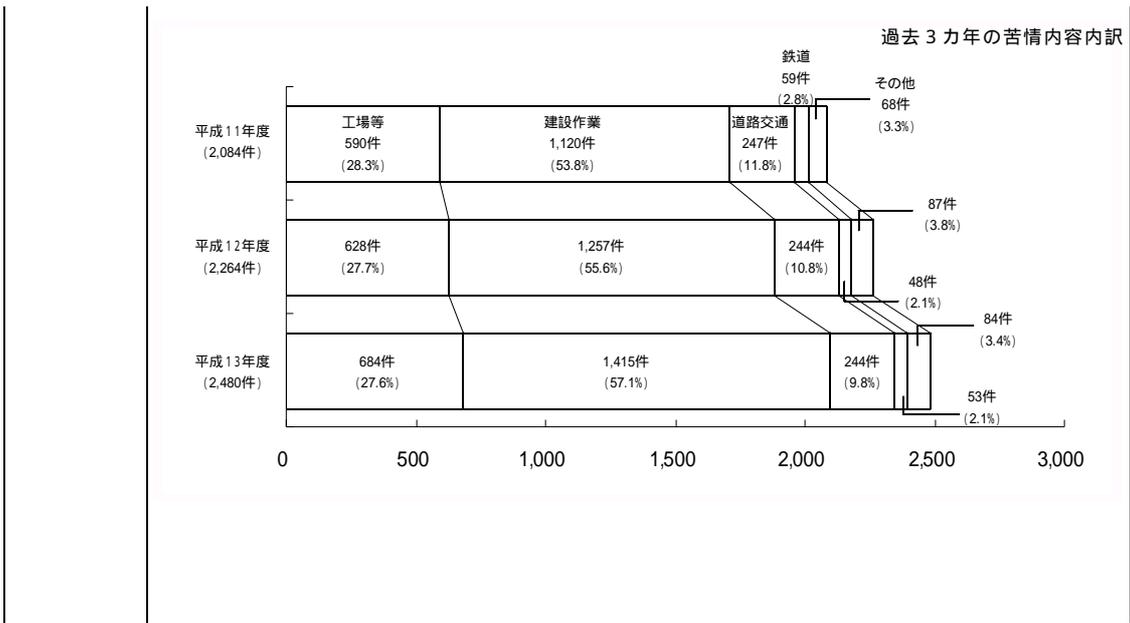
下位目標1	騒音に係る環境基準の達成率を向上させる					
指標		H11年度	H12年度	H13年度	目標値	H - 年度
騒音に係る環境基準達成率(%)	一般地域	66.3	71.9	73.8		100
	道路に面する地域	-	76.9	77.6		100
航空機騒音に係る環境基準達成率(%)	測定地点ベース(地方公共団体が測定した結果を集計)	71.1	72.0	74.5		100
新幹線鉄道騒音に係る環境基準達成率(%)	測定地点ベース(地方公共団体が測定した結果を集計)	34.2	41.1	39.0		100
	一般環境に係る環境基準の達成率は上昇傾向にある。 道路に面する地域に係る環境基準の達成率については、平成12年度に面的					

達成状況	<p>評価という新しい評価法が導入されたことや、常時監視を行う地方公共団体が適切な面的評価を全面的には実施していないこと、データのサンプル数の不足、地域的な偏り等により、現時点では達成率を一般的な傾向としては評価できないが、今後上記の問題が解消されることにより、一般的傾向としての評価が可能になるものと考えられる。</p> <p>航空機騒音に係る環境基準の達成状況については、達成率は上昇してきているものの、依然未達成の地点数は多い状況である。</p> <p>また、新幹線鉄道騒音に係る環境基準の達成状況については、達成率はほぼ横ばいであるが、依然未達成の地点は多く、厳しい状況である。</p>
------	---

下位目標2	騒音公害を減少させ、良好な生活環境を保全する。				
指 標	H11年度	H12年度	H13年度	目標値	-
騒音に係る苦情件数	12,452	14,066	14,547		(-)
達成状況	<p>長期的には減少傾向にあったが、騒音規制法における規制対象外の発生源に対する苦情が増加傾向にある。</p> <div style="text-align: center;">騒音苦情件数の推移</div>				



下位目標3	振動公害を減少させ、良好な生活環境を保全する。				
指標	H11年度	H12年度	H13年度	目標値	-
振動に係る苦情件数	2,084	2,264	2,480		(-)
達成状況	長期的には減少傾向にあったが、建設作業振動に対する苦情が増加傾向にある。				
	<p style="text-align: center;">振動苦情件数の推移</p>				



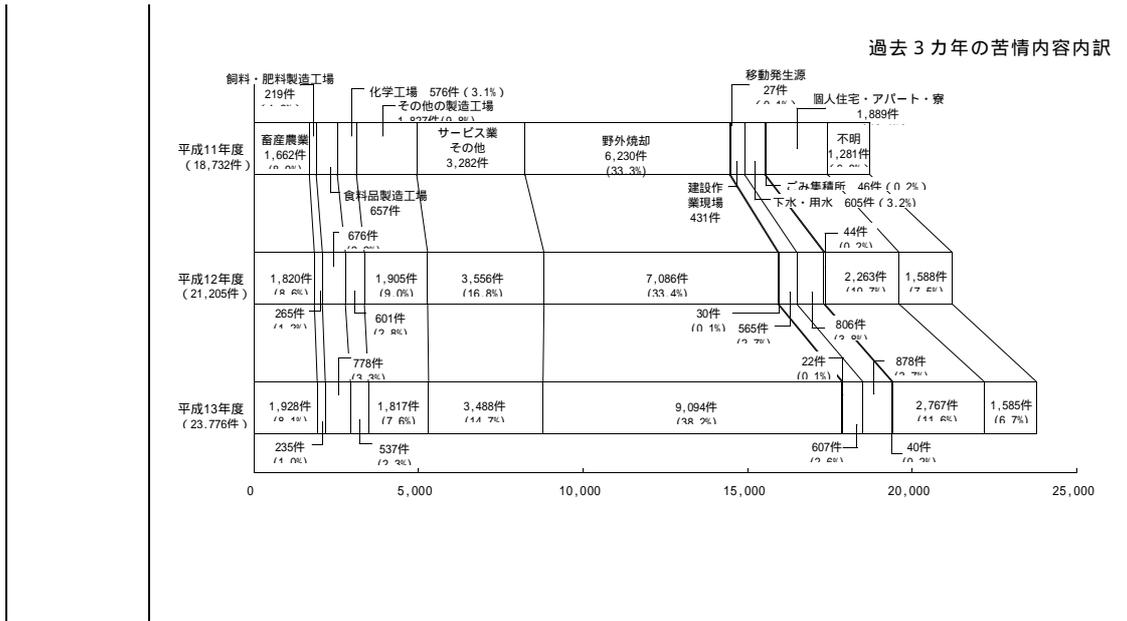
下位目標4	悪臭公害を減少させ、良好な生活環境を保全する。				
指標	H11年度	H12年度	H13年度	目標値	-
悪臭に係る苦情件数	18,732	21,205	23,776		(-)
参考指標	H12年度	H13年度	H14年度	目標値	-
臭気指数規制の導入地方公共団体数(累計)	3団体	10団体	67団体		(-)

達成状況

野外焼却や個人住宅等に対する苦情を中心に苦情件数は増加傾向にある。近年の苦情傾向に即した規制方式である臭気指数規制の導入地方公共団体数は近年着実に増えている。

悪臭苦情件数の推移

年度	件数
45	15,000
46	18,000
47	22,000
48	20,000
49	16,500
50	18,500
51	16,500
52	17,000
53	17,000
54	16,000
55	14,000
56	14,000
57	14,000
58	13,500
59	14,000
60	13,500
61	13,000
62	13,000
63	12,500
64	12,500
65	12,500
66	12,000
67	12,000
68	11,500
69	11,000
70	11,000
71	10,500
72	10,500
73	10,000
74	10,000
75	10,000
76	10,000
77	10,000
78	10,000
79	10,000
80	10,000
81	10,000
82	10,000
83	10,000
84	10,000
85	10,000
86	10,000
87	10,000
88	10,000
89	10,000
90	10,000
91	10,000
92	10,000
93	10,000
94	10,000
95	10,000
96	10,000
97	10,000
98	10,000
99	10,000
100	10,000
101	10,000
102	10,000
103	10,000
104	10,000
105	10,000
106	10,000
107	10,000
108	10,000
109	10,000
110	10,000
111	10,000
112	10,000
113	10,000
114	10,000
115	10,000
116	10,000
117	10,000
118	10,000
119	10,000
120	10,000
121	10,000
122	10,000
123	10,000
124	10,000
125	10,000
126	10,000
127	10,000
128	10,000
129	10,000
130	10,000
131	10,000
132	10,000
133	10,000
134	10,000
135	10,000
136	10,000
137	10,000
138	10,000
139	10,000
140	10,000
141	10,000
142	10,000
143	10,000
144	10,000
145	10,000
146	10,000
147	10,000
148	10,000
149	10,000
150	10,000
151	10,000
152	10,000
153	10,000
154	10,000
155	10,000
156	10,000
157	10,000
158	10,000
159	10,000
160	10,000
161	10,000
162	10,000
163	10,000
164	10,000
165	10,000
166	10,000
167	10,000
168	10,000
169	10,000
170	10,000
171	10,000
172	10,000
173	10,000
174	10,000
175	10,000
176	10,000
177	10,000
178	10,000
179	10,000
180	10,000
181	10,000
182	10,000
183	10,000
184	10,000
185	10,000
186	10,000
187	10,000
188	10,000
189	10,000
190	10,000
191	10,000
192	10,000
193	10,000
194	10,000
195	10,000
196	10,000
197	10,000
198	10,000
199	10,000
200	10,000
201	10,000
202	10,000
203	10,000
204	10,000
205	10,000
206	10,000
207	10,000
208	10,000
209	10,000
210	10,000
211	10,000
212	10,000
213	10,000
214	10,000
215	10,000
216	10,000
217	10,000
218	10,000
219	10,000
220	10,000
221	10,000
222	10,000
223	10,000
224	10,000
225	10,000
226	10,000
227	10,000
228	10,000
229	10,000
230	10,000
231	10,000
232	10,000
233	10,000
234	10,000
235	10,000
236	10,000
237	10,000
238	10,000
239	10,000
240	10,000
241	10,000
242	10,000
243	10,000
244	10,000
245	10,000
246	10,000
247	10,000
248	10,000
249	10,000
250	10,000
251	10,000
252	10,000
253	10,000
254	10,000
255	10,000
256	10,000
257	10,000
258	10,000
259	10,000
260	10,000
261	10,000
262	10,000
263	10,000
264	10,000
265	10,000
266	10,000
267	10,000
268	10,000
269	10,000
270	10,000
271	10,000
272	10,000
273	10,000
274	10,000
275	10,000
276	10,000
277	10,000
278	10,000
279	10,000
280	10,000
281	10,000
282	10,000
283	10,000
284	10,000
285	10,000
286	10,000
287	10,000
288	10,000
289	10,000
290	10,000
291	10,000
292	10,000
293	10,000
294	10,000
295	10,000
296	10,000
297	10,000
298	10,000
299	10,000
300	10,000
301	10,000
302	10,000
303	10,000
304	10,000
305	10,000
306	10,000
307	10,000
308	10,000
309	10,000
310	10,000
311	10,000
312	10,000
313	10,000
314	10,000
315	10,000
316	10,000
317	10,000
318	10,000
319	10,000
320	10,000
321	10,000
322	10,000
323	10,000
324	10,000
325	10,000
326	10,000
327	10,000
328	10,000
329	10,000
330	10,000
331	10,000
332	10,000
333	10,000
334	10,000
335	10,000
336	10,000
337	10,000
338	10,000
339	10,000
340	10,000
341	10,000
342	10,000
343	10,000
344	10,000
345	10,000
346	10,000
347	10,000
348	10,000
349	10,000
350	10,000
351	10,000
352	10,000
353	10,000
354	10,000
355	10,000
356	10,000
357	10,000
358	10,000
359	10,000
360	10,000
361	10,000
362	10,000
363	10,000
364	10,000
365	10,000
366	10,000
367	10,000
368	10,000
369	10,000
370	10,000
371	10,000
372	10,000
373	10,000
374	10,000
375	10,000
376	10,000
377	10,000
378	10,000
379	10,000
380	10,000
381	10,000
382	10,000
383	10,000
384	10,000
385	10,000
386	10,000
387	10,000
388	10,000
389	10,000
390	10,000
391	10,000
392	10,000
393	10,000
394	10,000
395	10,000
396	10,000
397	10,000
398	10,000
399	10,000
400	10,000
401	10,000
402	10,000
403	10,000
404	10,000
405	10,000
406	10,000
407	10,000
408	10,000
409	10,000
410	10,000
411	10,000
412	10,000
413	10,000
414	10,000
415	10,000
416	10,000
417	10,000
418	10,000
419	10,000
420	10,000
421	10,000
422	10,000
423	10,000
424	10,000
425	10,000
426	10,000
427	10,000
428	10,000
429	10,000
430	10,000
431	10,000
432	10,000
433	10,000
434	10,000
435	10,000
436	10,000
437	10,000
438	10,000
439	10,000
440	10,000
441	10,000
442	10,000
443	10,000
444	10,000
445	10,000
446	10,000
447	10,000
448	10,000
449	10,000
450	10,000
451	10,000
452	10,000
453	10,000
454	10,000
455	10,000
456	10,000
457	10,000
458	10,000
459	10,000
460	10,000
461	10,000
462	10,000
463	10,000
464	10,000
465	10,000
466	10,000
467	10,000
468	10,000
469	10,000
470	10,000
471	10,000
472	10,000
473	10,000
474	10,000
475	10,000
476	10,000
477	10,000
478	10,000
479	10,000
480	10,000
481	10,000
482	10,000
483	10,000
484	10,000
485	10,000
486	10,000
487	10,000
488	10,000
489	10,000
490	10,000
491	10,000
492	10,000
493	10,000
494	10,000
495	10,000
496	10,000
497	10,000
498	10,000
499	10,000
500	10,000
501	10,000
502	10,000
503	10,000
504	10,000
505	10,000
506	10,000
507	10,000
508	10,000
509	10,000
510	10,000
511	10,000
512	10,000
513	10,000
514	10,000
515	10,000
516	10,000
517	10,000
518	10,000



下位目標 5	ヒートアイランド対策を推進し、ヒートアイランド現象を緩和させる。
達成状況	平成14年度に、ヒートアイランド対策関係府省連絡会議が設置され、ヒートアイランド対策に係る大綱の策定に関する基本的な方針が決定された。本方針では、ヒートアイランド対策の主な柱として、人工排熱の低減、地表面被覆の改善、都市形態の改善の3つが挙げられており、これら対策の推進を図っている。

下位目標 6	光害対策に対する各主体の関心・理解を深める。				
参考指標	H 11年度	H 12年度	H 13年度	目標値	-
スターウォッチングネットワーク参加者数(人)	15,617	14,741	12,745		(-)
達成状況	全国星空継続観察の実施により、国民の光害に対する意識啓発を進めている。				

評価、及び今後の課題

<p>【必要性】(公益性、官民の役割分担等)</p> <p>騒音・振動・悪臭等は人間の感覚に直接作用するものであるため、その対策は快適な生活環境を確保するという観点からも極めて公益性の高い施策である。また、国が実態調査に基づく法体制の整備や規制手法の検討を行い、地方公共団体が規制の実施を担う等、国と地方における適切な役割分担がな</p>

されている。さらに、近年都市部において夏季の気温上昇やそれに伴う熱中症の増加等が見られ、ヒートアイランド対策に対する社会的ニーズや緊急性は非常に高まっている。

【効率性】(効果とコストとの関係に関する分析等)

限られた予算を効率的に活用すべく、対策の緊急性、影響力等を鑑み、重要度の高い分野への重点的な資源配分を行っている。また、騒音・振動・悪臭防止施設への融資制度や課税特例措置、認定緑化施設に係る課税標準の特例措置等の手法を組み合わせることで、より少ないコストでの目標達成を図っている。さらに、地方公共団体との連携を積極的に図ることにより、コストの削減に努めている。

【有効性】(達成された効果等)

目標に対する総合的な評価

騒音の環境基準における面的評価や臭気指数規制の導入により環境保全の枠組が着実に整備されている。特に騒音・振動については、長期的には苦情件数が減少している。

下位目標毎の評価

(1) 騒音対策(下位目標1, 2)

<工場・事業場等からの騒音に係る対策>

騒音規制法に係る規制により、長期的には苦情件数が減少しているが、規制対象外の発生源に対する苦情の割合が増えている。これらの対策の裏付けとなる騒音防止技術の開発支援・普及啓発を図るため、実用化が期待されている対策の一つであるアクティブノイズコントロール技術(発生している音と逆位相の音を発生させ、打ち消しあわせる技術)の評価を行い、基礎的実験において一定の成果を得たところ。また、低周波音については、近年、建具がたつく等の物的苦情から心身に係る苦情へと苦情内容が変化したことに伴い、科学的知見を改めて収集した。

<自動車騒音対策>

道路沿道における自動車交通騒音実態を把握するための評価方法として、特定の地点における騒音測定結果を周辺地域沿道の代表として環境基準と照合する従来の方法を改正し、平成12年度からは、建物・住居等の生活空間単位での環境基準達成状況を評価する方法(以下、「面的評価」という。)を採ることとしたが、平成13年度末時点では騒音の常時監視を行うべき132の地方公共団体のうち、面的評価を行ったのは78にとどまっており、依然として面的評価が全面的に導入されたとは言い難い状況にある。

また対策としては、これまでは一台一台の自動車から発生する騒音レベルを低減する「自動車単体対策」を中心に取り組んできたが、平成7年3月の中央環境審議会答申「今後の自動車騒音低減対策のあり方について」において総合的な対策に関する基本的な考え方が示されたことを受け、自動車単体対策の他、関係省庁と連携して、道路構造対策、交通流対策、沿道対策といった各対策の充実強化の方策を検討してきている。

< 鉄道等騒音対策 >

新幹線鉄道騒音については、環境基準の達成状況が厳しいため、当面の対策として平成14年度末を目途にいわゆる「第3次75デシベル対策」を実施してきた。平成15年度には、この「第3次75デシベル対策」の達成状況を調査することとしている。また、在来線の騒音については、新線建設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針を示しており、各事業者がレール削正（レール表面を平坦にする措置）などの騒音低減対策を進めている。

< 航空機騒音対策 >

飛行場周辺の航空機騒音については、環境基準達成のため、低騒音型航空機の導入などの単体規制のほか、運行の規制など各飛行場の実態に応じた騒音対策を進めている。

(2) 振動対策 (下位目標 3)

< 工場・事業場等からの振動に係る対策 >

振動規制法に係る規制により、長期的には苦情件数が減少しているが、建設作業に関する苦情は増加傾向にあることに鑑み、平成14年度には建設作業振動防止技術に関する調査を行った。今後は対策事例を取りまとめ、地方公共団体や中小規模の施工業者等への対策技術の普及を通じて苦情件数のさらなる減少が期待できる。

< 道路交通振動対策 >

道路交通振動については、振動規制法により要請限度が定められ、これを目標値として対策が講じられるとともに、要請限度値を超えない地域においても、沿道住民の苦情に対応して対策が講じられている。近年では車両の大型化や道路整備の進展により、自動車交通の質・量ともに変化してきたこと、耐震基準の見直しやライフスタイルの変化により建造物の構造も変わってきたこと等を受け、振動の評価や対策の在り方について検討を進めている。

< 鉄道振動対策 >

新幹線鉄道振動については、「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について（勧告）」において、振動対策の指針を示しており、この勧告に基づき対策が進められており、ほとんどの地域で勧告の指針値を下回っている。在来線の振動については、各事業者が個別にレール削正などの振動低減

対策を講じている。

(3) 臭気対策 (下位目標 4)

悪臭に係る苦情件数は近年増加傾向にあるが、嗅覚測定法精度管理マニュアル・安全管理マニュアルの作成等、臭気指数規制を円滑に導入するための基盤整備を進めた結果、全国の地方公共団体における導入の動きが本格化している (平成15年4月末現在73団体) ことから、今後、規制の円滑な施行による苦情件数の減少が期待される。

また、安価で効果的な脱臭技術の開発・普及推進や、快適なかおり環境の保全・創造に向けた地域の取組支援等、行政や事業者、国民が一体となって臭気対策に取り組むよう働きかけを行った結果、各主体における自主的取組が活発化しつつある。

さらに、近年嗅覚測定法の規格化に向けた動きが世界的に進んでおり、独自の測定法 (三点比較式臭袋法) を開発している日本としては、測定法間の比較検討調査や海外に向けた情報発信を積極的に行っていく必要がある。

(4) ヒートアイランド対策 (下位目標 5)

ヒートアイランド対策関係府省連絡会議が設置され、ヒートアイランド対策に係る大綱の策定に向け、政府としての取組が進められている。また、認定緑化施設に係る課税標準の特例措置の延長が認められ、ヒートアイランド対策の一つである都市緑化の普及に役立っている。

(5) 光害対策 (下位目標 6)

光害対策については、夏と冬の2回、星空継続観察を実施し、延べ1万3千人の参加者に対する体験型意識啓発等を実施した。

今後の課題

(1) 騒音対策

< 工場・事業場等からの騒音に係る対策 >

- ・未規制施設等の対策検討
- ・低周波音に関する生活影響等の科学的知見の取りまとめ
- ・環境基準等の評価に必要な睡眠影響、住民反応調査に係るデータの収集

< 自動車騒音対策 >

- ・自動車単体対策については、引き続き自動車メーカー等における自動車騒音低減技術の研究開発の促進を図り、更なる自動車騒音の低減の可能性を検討していくことが必要である。
- ・地域的な対策では、今後、面的評価の推進により、重点的に対策をとるべ

き地域が明らかになることを受け、 地域レベルにおける総合的かつ計画的な対策 及び 沿道対策の充実強化に係る具体的・制度的な検討を行うことが必要である。

< 新幹線鉄道等騒音対策 >

- ・新幹線鉄道については、いわゆる75デシベル対策が平成15年3月に終了したことから、環境基準の達成に向けた新たな対策の検討が必要である。
- ・既設在来線について、各事業者が独自の判断で地域に適した対策を実施していることから、騒音対策マニュアルを策定するなど統一的な騒音対策を示していくことが必要である。

< 航空機騒音対策 >

- ・国際民間航空機関（ I C A O ）による航空機単体規制の強化に加え、飛行場周辺対策の一層の推進を図るため、各飛行場における騒音実態に応じた対策の具体化が必要である。

（ 2 ）振動対策

< 工場・事業場等からの振動に係る対策 >

- ・振動規制法の適切な運用や振動公害防止に向けた啓発活動

< 道路交通振動対策 >

- ・振動規制法に規定された要請限度制度は既に25年が経過しており、その間に道路交通が質、量ともに変化したこと、国際機関における人の振動に対する感覚特性が見直されたことなどを踏まえ、制度に係る見直しを行うことが必要である。

< 鉄道振動対策 >

- ・新幹線についてはほぼ指針値を達成しているが、依然として苦情があることから、今後新たな対策を検討することが必要である。
- ・在来線については、鉄道事業者の独自判断により対策が講じられているが、今後、対策マニュアルを策定するなど統一的な振動対策を示していくことが必要である。

（ 3 ）臭気対策

- ・国際的な三点比較式臭袋法の周知・徹底
- ・臭気指数規制の導入推進
- ・中小規模事業場に適用可能な脱臭技術の開発及び普及
- ・国内規格制度の整備

<p>(4) ヒートアイランド対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒートアイランド対策に係る大綱の策定 ・ヒートアイランド対策技術の普及 ・ヒートアイランド対策に関する調査・研究の推進 ・ヒートアイランド現象のメカニズム解明に向けた広域測定の実施 <p>(5) 光害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ認知度の低い光害（ヒカリ害）という言葉の一層のPR ・より魅力的で話題性のある星空継続観察及び光害啓発キャンペーンへの内容充実 ・地方公共団体等取組の支援強化 ・光害防止を考慮した照明器具の普及対策
--

政策への反映の方向性

<p>事業の改善・見直し</p>	<p>理由の説明（<u>新規</u>、<u>拡充</u>、縮小、廃止等）</p> <p><u>新規</u> 臭気指数規制を制度化しさらに普及していくため、嗅覚測定法の国際標準規格化が国内の産業界に与える影響を鑑み、早急に積極的な対応を図る必要がある。</p> <p><u>拡充</u> 苦情実態の変化に即した規制を行うため、臭気指数に係る規制基準の再検討が必要である。</p> <p>道路交通の質・量の変化、国際機関における人の振動に対する感覚特性の見直しなどを踏まえ、騒音振動評価の基礎となる住民反応等社会調査を行う必要がある。</p>
<p>現行のまま継続</p>	<p>理由の説明</p>

【別紙】

事務事業シート

施策名	- 2 - (2) 大気生活環境対策	
事務事業名 (関連下位目標番号)	事業の概要	主な関連予算事項等 (14年度予算)
騒音対策 (下位目標1・2)	<p><工場・事業場等からの騒音に係る対策></p> <p>騒音規制法の運用や音風景100選等による音環境保全を普及啓発活動により、騒音に係る生活環境を保全していく。</p> <hr/> <p><自動車騒音対策></p> <p>毎年、全国の自動車騒音の状況を把握し、騒音対策の基礎資料としてきた。今後は、新環境基準に定められた面的評価により、全国の騒音状況の把握を図っていくが、面的評価の進捗により、対策重点地域が明らかになることから、沿道対策の充実強化等について、具体的、制度的な検討を行う必要がある。</p> <p>また、更なる自動車単体騒音の低減の可能性について検討する。</p>	<p><主な関連予算></p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音による影響の評価に関する総合的研究 (10百万) ・低周波音の影響に関する調査 (12百万) ・騒音規制対象施設等実態調査 (6百万) ・騒音低減新技術状況検討調査 (5百万) <p><税制措置></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定事業用資産(騒音発生施設)の買替(交換)の場合の譲渡所得の課税の特例 ・騒音防止施設の特別土地保有税の非課税 <hr/> <p><主な関連予算></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路交通騒音・振動対策調査 (17百万円) ・道路交通騒音強化対策検討調査 (18百万円)

	<p>< 鉄道騒音対策 ></p> <p>新幹線鉄道騒音については、第3次75デシベル対策の達成状況を踏まえた環境基準達成のための新たな対策の検討が必要である。</p> <p>在来線の騒音については、事業者が個別に対策を講じていることから、統一的な騒音対策を示していく必要がある。</p> <p>-----</p> <p>< 航空機騒音対策 ></p> <p>航空機騒音については、低騒音型航空機の導入などの単体規制のほか、各飛行場の騒音実態に応じた騒音対策を進めている。</p>	<p>< 主な関連予算 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道騒音対策推進調査 (12百万円)
<p>振動対策 (下位目標3)</p>	<p>< 工場・事業場等からの振動に係る対策 ></p> <p>振動規制法の運用により振動に係る生活環境を保全するとともに、工場等振動、建設作業振動防止技術に関する調査等により有効な防止技術の普及活動を推進していく。</p> <p>-----</p> <p>< 道路交通振動対策 ></p> <p>振動規制法の要請限度を目標値として対策が講じられ、一定の効果をあげてきたが、要請限度制度は既に25年以上が経過しており、その間に道路交通が質・量とも変化したこと、国際機関における人の振動に対する感覚特性が見直されたことなどを踏まえ、見直しを行う必要がある。</p>	<p>< 主な関連予算 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振動防止技術指針策定調査 (6百万) <p>-----</p> <p>< 主な関連予算 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路交通騒音・振動対策調査 (18百万円)

	<p>< 鉄道振動対策 ></p> <p>新幹線鉄道騒音については、指針値をほぼ達成しているものの依然として苦情がある。このため新たな振動対策の検討を行う必要がある。</p> <p>在来線の振動については、事業者が個別に対策を講じていることから、統一的な振動対策を示していく必要がある。</p>	<p>< 主な関連予算 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新幹線鉄道振動対策検討調査 (8百万円)
<p>悪臭対策 (下位目標4)</p>	<p>悪臭に係る規制その他の対策を講じることにより、生活環境を保全するとともに人の健康を保護する。</p>	<p>< 主な関連予算 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悪臭防止法施行事務費 (1百万円) ・ 悪臭規制基準強化対策 (15百万円) ・ におい環境保全総合対策 (20百万円) ・ 悪臭防止技術改善普及推進 (4百万円) ・ 悪臭に係る測定技術適正化調査 (5百万円)
<p>ヒートアイランド対策 (下位目標5)</p>	<p>ヒートアイランド対策を行うことにより熱環境負荷の少ない良好な都市生活環境を目指す。</p>	<p>< 主な関連予算 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大気生活環境保全対策に関する調査 (20百万円) ・ 固定資産税
<p>光害対策 (下位目標6)</p>	<p>国民の光害に対するさらなる意識啓発を進めていくことにより、良好な光環境の構築を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大気生活環境保全対策に関する調査 (3百万円)

【別紙】 政策効果把握の手法及び関連指標

(施策名) -2-2大気生活環境対策(下位目標1)	単位	現況値(時点)	目標値(目標年次)		
(指標名) 騒音に係る環境基準達成率	%	一般地域 73.8	一般地域 100		
		道路に面する地域 77.6 (平成13年度)	道路に面する地域 100 (-)		
指標の解説(指標の算定方法) 環境基準の適合地点/測定地点数×100(一般地域) 環境基準以下の住宅等戸数/住宅等戸数×100(道路に面する地域)					
評価に用いた資料(インターネットの公開・非公開の別) 騒音規制法施行状況調査(公開)	関連する事務事業名 騒音対策				
目標値設定の根拠、考え方 騒音に係る環境基準について (平成10年環告64)					
特記事項 (外部要因の影響など) 自動車騒音の環境評価が面的評価に移行したのは平成12年度からであり、全面的な実施には至っていないこと、またデータのサンプル数が少ないことや地域的に偏りがあることから、環境基準達成率を経年的に評価できる状況にはない。					
目標値の実績値 騒音に係る環境基準達成率(%)					
	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
一般地域	68.1	70.3	66.3	71.9	73.8
道路に面する地域	(-)	(-)	(-)	(76.9)	(77.6)

(施策名) -2-2大気生活環境対策(下位目標2)	単位	現況値(時点)	目標値(目標年次)
(指標名) 騒音に係る苦情件数	件	14,547 (平成13年度)	(-)
指標の解説(指標の算定方法) 全国の地方公共団体に寄せられた騒音に係る苦情の件数			
評価に用いた資料(インターネットの公開・非公開の別) 騒音規制法施行状況調査(公開)	関連する事務事業名 騒音対策		
目標値設定の根拠、考え方			

特記事項（外部要因の影響など）					
苦情件数を減らすことが、即ち良好な生活環境の保全とはならない点に注意が必要。					
目標値の実績値					
騒音に係る苦情件数（件）					
	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
騒音苦情件数	14,011	12,685	12,452	14,066	14,547

（施策名）	-2-2大気生活環境対策（下位目標3）	単位	現況値（時点）	目標値（目標年次）	
（指標名）	振動に係る苦情件数	件	2,480 （平成13年度）	（ - ）	
指標の解説（指標の算定方法）					
全国の地方公共団体に寄せられた振動に係る苦情の件数					
評価に用いた資料（インターネットの公開・非公開の別）	振動規制法施行状況調査（公開）	関連する事務事業名 振動対策			
目標値設定の根拠、考え方					
特記事項（外部要因の影響など）					
苦情件数を減らすことが、即ち良好な生活環境の保全とはならない点に注意が必要。					
目標値の実績値					
振動に係る苦情件数（件）					
	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
振動苦情件数	2,257	2,124	2,084	2,264	2,480

（施策名）	-2-2大気生活環境対策（下位目標4）	単位	現況値（時点）	目標値（目標年次）
（指標名）	悪臭に係る苦情件数	件	23,776 （平成13年度）	（ - ）
指標の解説（指標の算定方法）				
全国の地方公共団体に寄せられた悪臭に係る苦情の件数				
評価に用いた資料（インターネットの公開・非公開の別）	悪臭防止法施行状況調査（公開）	関連する事務事業名 悪臭対策		
目標値設定の根拠、考え方				
特記事項（外部要因の影響など）				

野外焼却に対する苦情の増減に総件数が左右される。苦情件数を減らすことが、即ち良好な生活環境の保全とはならない点に注意が必要。

目標値の実績値					
悪臭に係る苦情件数（件）					
	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
悪臭苦情件数	14,554	20,092	18,732	21,205	23,776

(施策名) -2-2大気生活環境対策(下位目標4)	単位	現況値(時点)	目標値(目標年次)		
(指標名) 臭気指数規制の導入地方公共団体数	団体	67 (平成14年度)	(-)		
指標の解説(指標の算定方法) 悪臭防止法に基づき臭気指数規制を導入した全国の地方公共団体数					
評価に用いた資料(インターネットの公開・非公開の別) 臭気対策行政ガイドブック	関連する事務事業名 悪臭対策				
目標値設定の根拠、考え方					
特記事項 (外部要因の影響など)					
目標値の実績値					
臭気指数規制の導入地方公共団体数(団体)					
	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
団体数	3	3	3	10	67

(施策名) -2-2大気生活環境対策(下位目標6)	単位	現況値(時点)	目標値(目標年次)		
(指標名) スターウォッチングネットワーク参加者数	人	12,745 (平成13年度)	(-) (-)		
指標の解説(指標の算定方法) 年に2回(夏期、冬期)に行われるスターウォッチングネットワークにおける参加者数					
評価に用いた資料(インターネットの公開・非公開の別) スターウォッチングネットワーク参加者数(非公開)	関連する事務事業名 光害対策				
目標値設定の根拠、考え方					

特記事項（外部要因の影響など）

屋外で行うため、天候の影響により参加者数の増減が生じる。

目標値の実績値

スターウォッチングネットワーク参加者数（人）

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
参加者数（人）	13,898	14,490	15,617	14,741	12,745